■基礎データ

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 洪水災害への対応力を高める |
| ねらい  (学習目標) | １．グループで協力して地域の洪水リスクや適切な避難行動を考える  ２．グループで話し合ったことをまとめ発表する |
| 対象学年 | 中学生（「指導上の留意点」の表現を変更することで小学生に応用可） |
| イベント（教科） | 学習３（総合的な学習・特別活動） |
| 学習形態 | 全員（授業）・グループ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計５０分 |
| 準備 | タブレット端末、電子黒板、デジタル教材（YOU@RISK津波版）、など |

■学習の流れ

|  |  |
| --- | --- |
| 構成・主な学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導入（5分） | |
| 1.学習のねらいを理解する。  1-1.前時の学習内容を振り返る。 | ◎前時の学習を振り返る。  ※ステップ2で行ったYOU@RISK子ども版・洪水を使った学習内容を振り返る。 |
| 1-2.本時のねらいを知る。 | ◎本時の学習を通じて達成すべき狙いを伝える。  ◎ICTツール「YOU@RISK子ども版・洪水」を使いこなし、洪水による浸水範囲や避難場所、避難経路の危険性を調べ理解させる。  ◎設定した課題に対して個人で調べ理解させる。  ◎グループで議論し、意見をまとめて発表させる。 |
| 展開1（12分） | |
| 2.地図情報を使って指定した場所や周辺地域の洪水リスクと地理的条件を調べ理解する。  2-1.地図情報を使って洪水リスクを理解する。 | ※教員のタブレット画面をモニター等に表示させる。  ※ステップ2\_学習指導案「2.地図情報を使って津波による浸水範囲を調べ理解する。」以降の学習の流れで進める。  ※個人のタブレットでYOU@RISK子ども版・洪水を操作して調べる。  ◎タブレットでYOU@RISK子ども版・洪水を起動させる。  ・防災科学技術研究所ホームページ（リンク先URL）  <https://nied-weblabo.bosai.go.jp/you-risk_20230330/>  ◎グループで考えるテーマを与える。  ※教員は、クラスを4～5人のグループに分ける。  ※教員は、以下の想定を満たす建物や場所を予め調べておく。  〇洪水の浸水範囲内にある建物や場所からの避難行動  〇洪水の浸水範囲に近い建物や場所からの避難行動  〇垂直避難を想定した避難行動  〇スタート地点は統一し、避難する時間を変える（早朝、日中、夜間）。  など。  ◎指定した場所や周辺地域の洪水リスクを調べる。  ※洪水による浸水範囲を確認するように促す。  ◎指定した場所や周辺の地理的特性を調べる。  ※YOU@RISK子ども版・洪水を操作し、土地の高低差など、地理的な特徴を読み解く。  ◎調べてわかったことをグループ内で発表させる。  ※グループのリーダーは、意見をまとめる。 |
| 2-2.地図情報を使って洪水が発生した時の避難場所を理解する。 | ◎洪水から避難する場所を調べる。  ※YOU@RISK子ども版・洪水を操作し、避難する場所を考えさせる。  ※選択した場所の浸水深を確認するように促す。  ◎避難する場所や周辺の地理的特性を調べる。  ※YOU@RISK子ども版・洪水を操作し、地図を使って土地の高低差を確認するように促し、地理的な特徴を読み解く。  ※避難場所の収容人数や設備も確認するように促す。  ※垂直避難について確認するように促す。  ◎洪水から避難する場所（１地点）を選択させる。  ◎選定した場所と選択した理由をグループ内で発表させる。  ※グループで議論して、洪水から避難する場所を決める。 |
| 2-3.地図情報を使って洪水が発生した時の適切な避難経路を理解する。 | ◎避難場所への避難経路を調べる。  ※YOU@RISK子ども版・洪水を操作し、避難経路の危険性を確認しながら、安全な経路を選択するように促す。  ※浸水範囲、避難場所の位置などを確認し、最適な避難所と避難経路を検討するように促す。  ◎洪水から避難する経路を選択させる。  ◎選定した経路と選択した理由をグループ内で発表させる。  ※グループで議論して、洪水から避難する経路を決める。 |
| 展開2（18分） | |
| 3.グループの意見を発表する。 | ◎グループで、テーマに関する発表資料を作成する。  ※YOU@RISK子ども版・洪水のスクリーンショットを活用する。  ◎グループの発表を行う。  ※グループの発表時間（3分）を伝える。  ◎発表後に、他のグループからの質問や意見を受ける。  ※教員は、グループの発表や質疑応答の内容をまとめる。  （時間がある場合）  ※展開1からの作業を行う。  ※テーマは、グループで話し合って決めさせる。  ◎いくつかのグループに発表させる。 |
| まとめ（5分） | |
| 4.学習内容をまとめる。 | ◎本時の学習内容をまとめる。  ※教員は、グループの発表や質疑応答の内容をまとめる。  ◎習のねらいと内容を振り返る。  ◎学習1～3の学習を振り返る。 |

■評価ポイント

|  |
| --- |
| １　地図情報を使って洪水リスクや避難行動を考え、他者に伝えることができたか |
| ２　ループで協力して、地域の洪水リスクや避難行動について発表することができたか |
| ３　自分や他者の命を守るための知識や意識を高めることができたか |

■特記事項

|  |
| --- |
| ・本指導案は、学習指導要領に沿った内容ではなく、洪水による被害範囲の理解のしやすさと対応行動の仕方  を現している |
| ・「理科」「社会科」と関連付けて指導すると、より学習効果が得られる |